



Idys[®] - TLIF 3DTi ケージ手技書

Idys TLIF 3DTi ケージ手技書

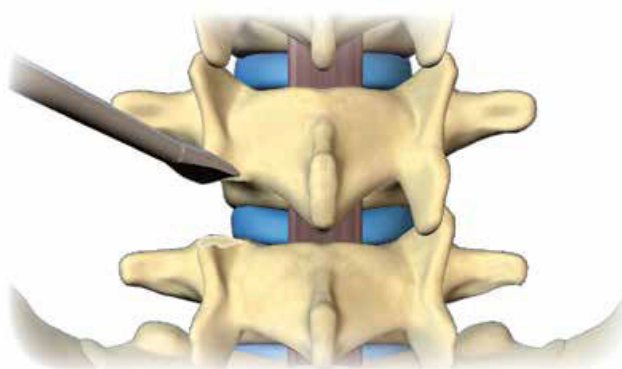
- 1 椎弓切除
- 2 一時的なディストラクション
- 3 椎間板切除術
- 4 終板の処置
- 5 ケージのサイズ決定
- 6 ケージホルダーの組立
- 7 ケージ準備
- 8 ケージ挿入
- 9 最終位置決め
- 10 後方固定

患者は手術台の上で腹臥位にします。外科的アプローチは通常の脊椎固定術に則って行って下さい。

1 椎弓切除

術部を切開し、腰椎後方を展開します。
骨ノミ等を使い片側の椎間関節を切除します。

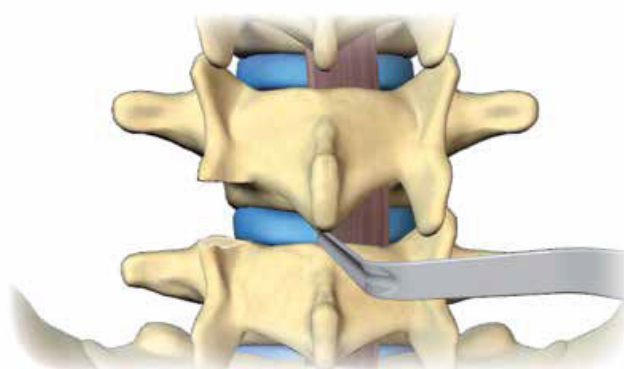
椎間板切除に使用する器械及びケージの挿入が可能な大きさまで、椎弓切除を行います。



レトラクターを使用して、手術の間、周囲の神経を保護します。



レトラクター(6mm)
04781006



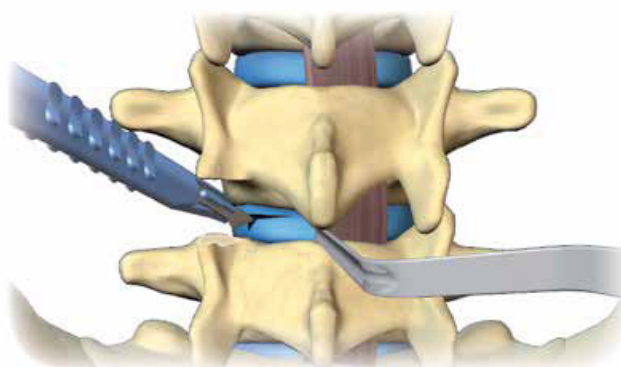
2 一時的なディストラクション

一時的に椎体間を開き、椎間板の露出を増やすために、必要に応じて徐々にディストラクションを行います。

3 椎間板切除術

スピッツメス等で椎間板を切開します。

- シェーバーをTハンドルに接続。
- シェーバーを回転させ、椎間板切除術を開始します。
- シェーバーの高さは 6mm から 14mm まで、1mm 刻みで用意されています。



- 小さなサイズのシェーバーから椎間板へ挿入して回転させ、1mmずつ大きなサイズのシェーバーへとサイズアップを行います。



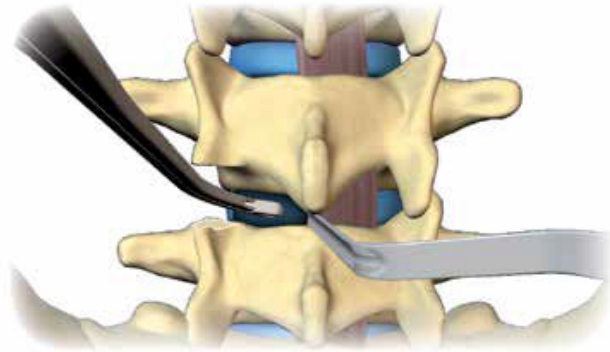
Tハンドル
99781001



Idys シェーバー
047070XX



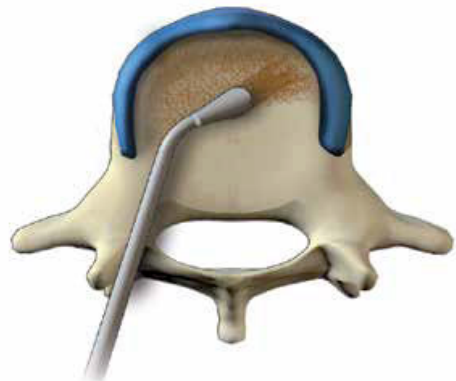
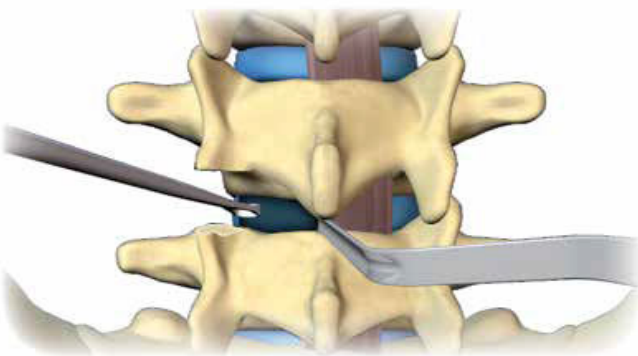
- ヘルニア鉗子等を用いて椎間板を摘出します。



推奨：ケージの安定性をより高めるため、線維輪の前方・外側の壁はできるだけ温存することが推奨されます。

4 終板の処置

- キュレットを使用して残存する椎間板を除去し、軟骨終板を搔爬します。
- また、遠位側の椎間板も除去します。



終板の処置は、移植骨の血管新生を促進するために行います。できるだけ良好なケージの支持性を得るためには、終板損傷に注意する必要があります。



Idys リングキュレット
ストレート
04704015

ストレートハンドル
99782003

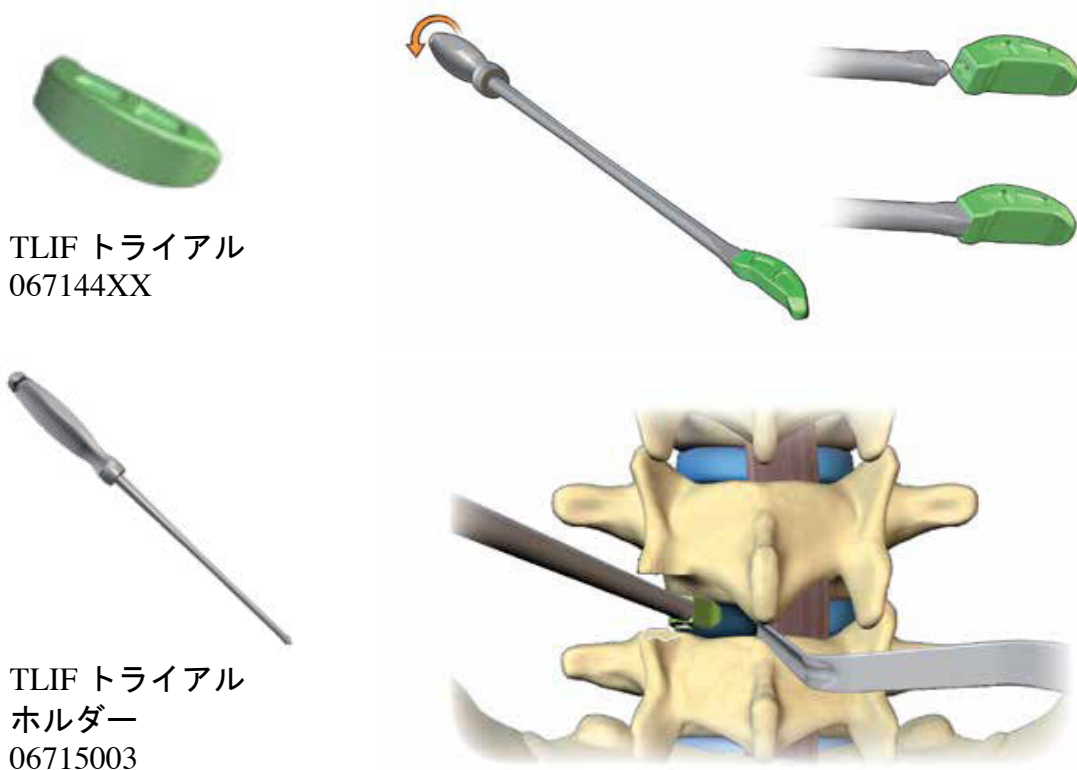


Idys カップキュレット
ストレート
04704005

5 ケージのサイズ決定

ノブを時計回りに回転させて、TLIF トライアルを TLIF トライアルホルダーに接続します。

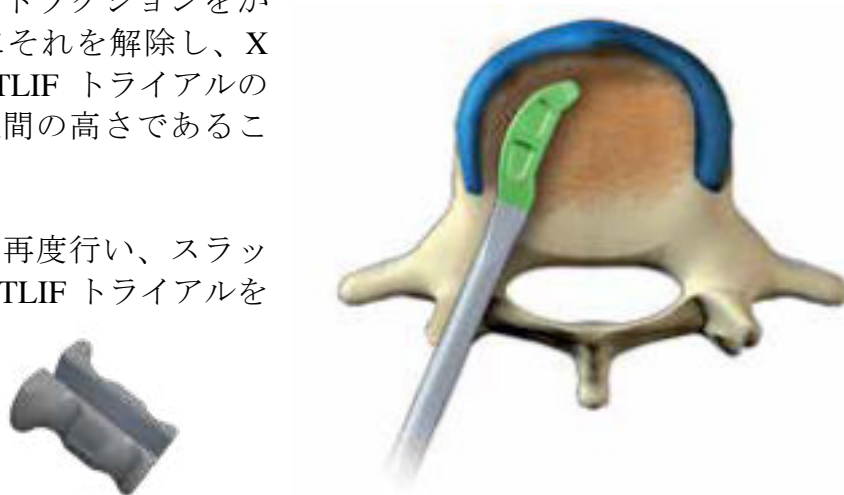
重要：最終的なインプラントの高さを決めるために、望ましい椎間板の高さと腰椎前弯を獲得できるような TLIF トライアルを選択する必要があります。



TLIF トライアルを最終設置位置にできるだけ近い椎間腔に挿入します。このとき、TLIF トライアルを TLIF トライアルホルダーから外さないように注意して下さい。

椎間板操作前にディストラクションをかけた場合は、一時的にそれを解除し、X線透視装置を用いて、TLIF トライアルの設置位置と望ましい椎間の高さであることを確認します。

ディストラクションを再度行い、スラップハンマーを使用して TLIF トライアルを除去します。



Idys スラップハンマー
04762000

6 ケージホルダーの組立

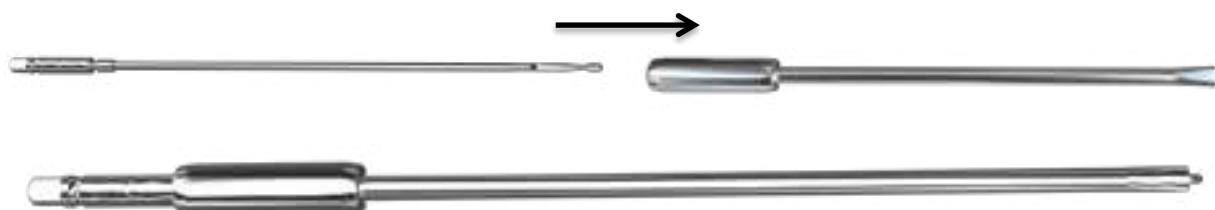
TLIF ケージホルダーは、「ノブ」「本体」と「チューブ」から組立てられます。



- 滅菌のたびに、「本体」に手術用潤滑剤を塗布してください。
- 「チューブ」を赤矢印（下図）の方向へスライドさせて「ノブ」と組立てます。



さらに、「本体」を「チューブ」に差し込んでいきます。



本体がチューブに完全に挿入されていることを確認します。
遠位端にあるクランプを露出させます。



ノブを反時計回りに回転させ、クランプを完全に開きます。



7 ケージ準備

選択したケージを TLIF ケージホルダーに、ノブを時計回りに回転させて接続します。ケージを骨充填ブロックにセットします。

推奨：移植骨を充填したケージと椎体終板とがうまく接触するように、移植骨をダブルエンドボーンインパクトでしっかりと充填します。



ストレートハンドル
99782003



TLIF ケージホルダー
06715002



骨充填ブロック
ツイン
06717003



ダブルエンド
ボーンインパクト
31761000

8 ケージ挿入

椎間腔へとケージを真っ直ぐに挿入し始めます。



TLIF ケージホルダーのノブを反時計方向に回し、ケージを椎間腔内で回転させます。ケージに軽く衝撃を与えて斜め方向に向け、ケージを横に押して中心位置にすることもできます。

X線透視装置を用いてケージの位置を確認し TLIF ケージホルダーを取り外します。

<ヒント>

ケージを接続する前に、TLIF ケージホルダーのノブを反時計方向に回転させ、遠位端のクランプを開きます。

ケージをクランプに接続し、ノブを時計方向に回して固定します。

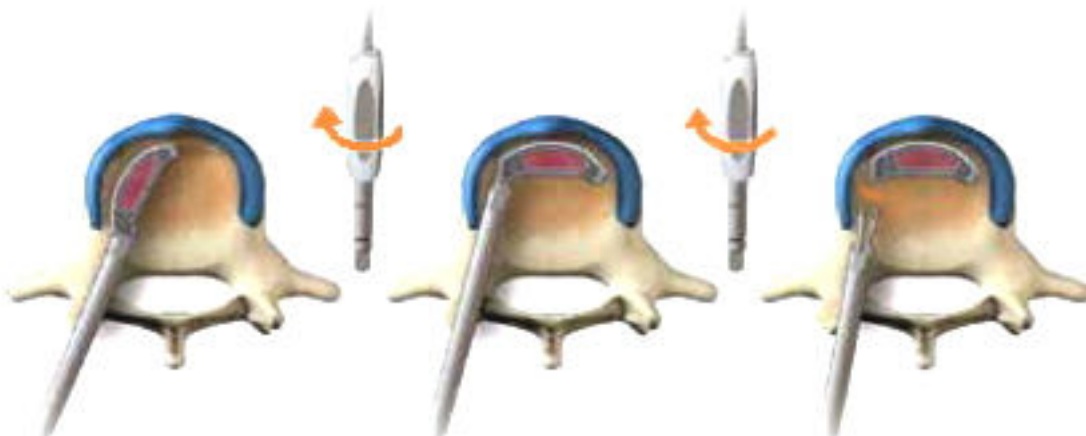
TLIF ケージホルダーとケージがまっすぐな状態で、椎間腔に挿入します。

ケージを椎間腔内で回転させるには、ノブを反時計回りに2回転させます。(ノブには欠けた箇所があるのでそれを基準にします)

ケージが適切な位置まできたら、ノブを反時計方向に回し続け、ケージを TLIF ケージホルダーから外します。



適切な位置が確認されるまで、TLIF ケージホルダーからケージを外さないで下さい。

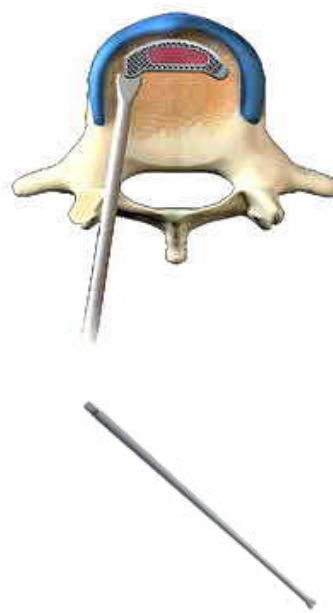


9 最終位置決め

ケージ埋植後、TLIF ケージプッシャー（直・曲がり）を用いて設置位置を修正します。



TLIF ケージ
プッシャーカーブ
06716003



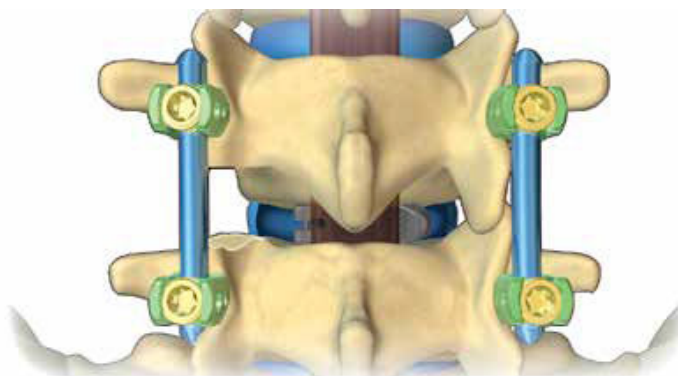
TLIF ケージ
プッシャーストレート
06716002

骨移植の追加は、ケージの後面に対して行うことができます。

ディストラクションを解除後、X線透視装置を用いて最終的なチェックを行います。

10 後方固定

Idys TLIF 3DTi ケージの安定性をさらに高めるためには、スクリーシステムによる後方固定を行う必要があります。



インプラント

Idys TLIF 3DTi ケージ

サイズ	高さ	角度	
29 x 11 mm	7 mm	0°	31572907-S
29 x 11 mm	8 mm	0°	31572908-S
29 x 11 mm	9 mm	0°	31572909-S
29 x 11 mm	10 mm	0°	31572910-S
29 x 11 mm	11 mm	0°	31572911-S
29 x 11 mm	12 mm	0°	31572912-S
29 x 11 mm	13 mm	0°	31572913-S
29 x 11 mm	14 mm	0°	31572914-S

(サイズにつきましてはお問い合わせ下さい)



インストゥルメント



レトラクター (6mm)
04781006



Idys シェーバー	6 mm	04707006
	7 mm	04707007
	8 mm	04707008
	9 mm	04707009
	10 mm	04707010
	11 mm	04707011
	12 mm	04707012
	13 mm	04707013
14 mm	04707014	



Idys スラップハンマー
04762000



Idys リングキュレット
ストレート
04704015



ダブルエンド
ボーンインパクト
31761000



Idys カップキュレット
ストレート
04704005



TLIF ケージ
ホルダーロング
06715002



骨充填ブロックツイン
06717003



TLIF トライアル
ホルダー
06715003



TLIF ケージプッシャー
ストレート
06716002



TLIF ケージプッシャー
カーブ
06716003



TLIF トライアル	29x7 mm	06714407
	29x8 mm	06714408
	29x9 mm	06714409
	29x10 mm	06714410
	29x11 mm	06714411
	29x12 mm	06714412
	29x13 mm	06714413
	29x14 mm	06714414



T ハンドル
99781001



ストレートハンドル
99782003



SURGICAL SPINE

株式会社サージカル・スパイン
162.0843
東京都新宿区市谷田町 2.19.1
NBC ビル 4F
TEL : 03.6265.0903
FAX : 03.6265.0902

インストゥルメント
製造販売業者：株式会社サージカル・スパイン
販売名：Idys ケージ器械
届出番号：13B1X10217S00042
販売名：エリスマ手術用器械
届出番号：13B1X10217S00023

インプラント
製造販売業者：株式会社サージカル・スパイン
販売名：Idys TLIF 3DTi ケージ
承認番号：30400BZX00126000

製造業者
Clariance
18 Rue Robespierre, 62217 Beaurains France
+33 3 21 16 12 15

*注意事項については添付文書をご覧ください。
*寸法・形状等については改良のため予告なく変更することがあります。